

◆Topic◆ 文理融合カリキュラム 「データサイエンス学部」とは

インスタグラムに投稿された写真を100枚見ても、特に世の中の何かがわかるわけではありません。しかしその数が何億にもなると、例えば①人がどんな場所に集まる傾向があるか、②何を身につけているか、③どんな人がどんなものに興味を持っているかなど、データを分析することで見えてくるものがあります。現代ではSNSを使うだけ、ネットで買い物をするだけ、写真投稿するだけなど、私達の何気ない行動が膨大なデータとして蓄積されています。生活だけでなく、病院でのX線写真データ、気象データなど、あらゆるデータが日々蓄積され続けています。こうして蓄積された膨大なデータを**ビッグデータ**と言います。これからの時代は、この**ビッグデータ**を取り扱い、分析する**データサイエンティスト**という職業が重要な役割を果たすと言われていています。そのため日本の大学にも、その専門家を養成するための単独の学部「**データサイエンス学部**」が設置されはじめてきました（今までは情報系の学部の中で少しずつ学ぶような領域でした）。2017年国立の**滋賀大学**に開設されたのが日本初。次いで2018年に**横浜市立大**、2019年には私立の**武蔵大学**に開設予定です。「サイエンス」と名がつくので「理系でしょ？」と思うのが自然です。確かに数学は絶対に必要で、入学後は統計学や情報学を学ばなければなりません。しかし対象とする分野は広範囲なため、入学後のカリキュラムでは経済学、経営学、金融論、力と運動、電気と磁気、生体分子と細胞など、文理を問わず広範囲に学ぶことになり、共通して次のような特徴があります。

- ①文理融合型のカリキュラム：文系・理系の枠組みを超えた、知力と分析力、発想力が必要との考え方を学ぶ。
- ②課題解決型学習)演習の採用：実データを使ったプロジェクトを行い、価値創造を学ぶ。
- ③国際水準の英語力：世界がフィールドとなるデータサイエンス領域で活躍するための英語力を身につける。

データサイエンティストは、金融、ビジネス、行政、防災、医療診断、観光業、気象予報などありとあらゆる分野での活躍が期待されており、就職は民間企業、公務員、研究機関など広範囲に広がると考えられます。また地域でも世界規模でも活躍のチャンスがあります。文系理系にとらわれず、知力と技能で世の中を分析し動かしていくデータサイエンスという分野が熱くなりつつあります。
(文責：岡崎)

『3年の窓』

いよいよセンター試験までのカウントダウンが迫ってきています。イチョウの木や紅葉の葉もすっかり落ちて、寒さを感じるといよいよ近づいてきたと感じますね。後期中間考査を終えて、多治見高校での最後の定期考査を終えました。寂しい気持ちもありますが、自らを振り返ると成長したなど実感する人が多いのではないのでしょうか。

さてなにをするにも、身体が元気でなくては実力を発揮できません。ここで書いている「実力」とは入試本番、センター試験本番の日に頭が活発に働くようにということを意味していません。これは入試までの準備期間も含めて長期的に頭をフル回転することです。また、夜型の勉強スタイルの人はそろそろ学習時間を見直す時期です。試験は午前中に行われることがほとんどです。試験時間に頭が起きておらずぼーっとしてしまうことは残念ですよね。今の内に夜12時前には寝て、朝6時～7時頃から起きて勉強が始められる生活習慣を意識していきましょう。受験は1日にしてならず。何年何カ月と努力を続けた結果が成果として現れます。1日無理をして3日寝込んでしまえば、効率が悪く空回りしてしまいます。ゴールを見据えて、なるべく焦らずに、一日一日を大切に過ごしてもらいたいと思います。

また、不安とプレッシャーに向き合っている時期でもあると思います。これはどの受験生も一緒です。私も高校生の時は緊張していました。仲間は余裕があるように見えるかもしれませんが、内心ではみんなドキドキなはずですよ。自分だけと思いきまないように。だからこそ。不安を口に出してみましょう。支えてくれる家族、先生方、友人に聞いてもらい、最後まで諦めず一緒に取り組もう！！

文責（渡邊完）

♪2年の窓♪

『作業興奮』

後期中間考査が終わり、結果はいかがでしたか。納得のいかない結果だった人、満足のいく結果だった人、それぞれ違った感想を持ったのではないのでしょうか。

さて、みなさんは「やる気スイッチ～、君のはどこにあるんだろ～♪」という塾のCMを聞いたことがありますか。こんな便利なスイッチがホントにあったらすごく助かりますよね。僕自身もたびたび、やる気の出ないことがあるので、このCMを見るたびに、ホントにあればいいのになぁなんて思っていました。みんなの中にも、勉強に対してやる気が起きないことは多くあるのではないですか。しかし、このスイッチを押す方法があれば知りたくないですか。

その方法とは「とりあえずやってみる」ということです。疑ってますか？

これは、心理学者のクレペリンさんが見つけた「作業興奮」という人間の作用です。

なぜ、「とりあえずやってみる」ことでやる気が起こるのかというと、やってみることで脳みそを刺激し、やる気の成分のドーパミンが出てやっが出るからだそうです。逆に言うと、何もしなければ、手足も動かさなければ、やる気は出ないままです。

だから、とりあえず面倒くさいけど5分やってみる。それでもやる気が出なかったら休憩する。また5分だけやってみる。繰り返しているうちにやる気スイッチがオンになるそうです。

勉強にやる気が出ない人たち、今日からとりあえずやってみては？



♪1年の窓♪

“Take action!” ～個人戦～

さあ、いよいよ冬季休業がやってきます。与えられた課題がありながらも、自分で時間の使い方を工夫できる時。楽しみですね！いつもとは少し違ったことを行動に移してみる時。あなたなら、何をしますか？

学習面…学校や塾からもらったものではないことを自分で考えてやってみる？小説ではない本を読んでみる？

その他…中学の友達とゆっくり、たっぷり時間を過ごす？行きたかった場所にいてみる？毛布にくるまりながら冬の星空を眺めてみる？

どんな小さなことでもいいです。そういう特別な経験が年明けからの糧となります。

“Take action!” ～団体戦～

英語の時間に学んだベネズエラの音楽教育プログラム。貧困で夢や希望を持ってない若者たちに無償で音楽教育を行いました。それが、東日本大震災をきっかけに、この日本にもやってきました。若者に夢や希望を、そして人との繋がりを与えてくれました。残念ながら、その創設者であるアブレル博士は今年、奇しくも震災から7年を迎えた3月に78歳の生涯を終えられましたが、彼の哲学は今後も生き続けていくことでしょう。

授業の中で紹介した『古本 for エル・システムジャパン』に多くの人が賛同してくれて嬉しかったです。12月～1月にかけて行動を移します。2、3年生の先輩たち、保護者の方々にも呼びかけて、多治見からできる限りの支援を届けましょう！

【今後の1年生進路行事】

1/7 月 始業の日・冬季課題テスト

1/12 土 進研模試

1/25 金 実用英語技能検定

(文責：桑原 華栄)